

成田山参道 活性化へ連携

みなも・米屋がマルシェ

千葉県内を中心に地域振興事業を手掛ける、みなも（千葉県八千代市）

は和菓子製造販売の米屋（同県成田市）と共同で、成田山新勝寺参道の活性化プロジェクトを始動した。インバウンド（訪日外国人）らの集客で連携する。

第1弾として20日、参道近くに県内の自家焙煎

コーヒー店4店を招きイベントを開く。

「成田門前マルシェ」

として、米屋が運営する「なごみの米屋門前店」

の駐車場を活用し、米屋のようかんに合うコーヒーを各店に提供してもらう。今後もパンのマルシェなど、イベントを定期的に開く。中長期では東京都心と成田空港を往復

するバスに立ち寄ってもらうなど広域連携も目指す。

みなもは「道の駅やちよ」（八千代市）内など様々な飲食店・物販店を経営するほか、コンサル事業も手掛けるジー・ピー・アイ（同市）の傘下。新型コロナウイルスの影響で観光客減に悩む米屋の諸岡良和社長が高校の同級生で親交があったジー・ピー・アイの岩崎肇社長に相談し、取り組みが始まった。